

# 西合志南中学校区 (西合志南中学校、西合志南小学校、西合志東小学校) 小中一貫教育グランドデザイン

教育基本テーマ  
令和8年度学校教育努力目標  
キーワード

「未来を拓く心豊かな人材をともに育む」  
『志合わせて夢実現プロジェクト』を踏まえた小中一貫教育の推進  
【志を合わせる】 + 【協働】



## 小中一貫教育目標

### 主体性を育み、協働する児童・生徒の育成

目指す子ども像 自分の進路を思い描き（主体性、夢）、自他の夢実現に向けて支え合い、高め合う（協働性）児童・生徒

#### 【仮説1】学力充実

自ら学び、学び方を習得する授業展開を工夫すれば、主体的に考え協働的に取り組む児童・生徒が育つだろう。

友達と協働しながら  
よりよい考えを創り上げる。

第3期 中学2年～中学3年

みんなの意見をもとに、  
よりよい考えを創り出す。

第2期 小学5年～中学1年

みんなの意見を整理し、まとめる。  
自分の意見を出す。

第1期 小学1年～小学4年

#### 【仮説2】生活充実

自分の良さに気づき、自己の能力を伸ばす取組を行えば、自他の命を大切にし、主体的・協働的に生活する児童・生徒が育つだろう。

社会の一員としての自覚を持ち、貢献する。

学校や地域の一員としての自覚を持ち、  
活動する。

自分の役割を果たす。  
自分のことが自分でできる。

児童・生徒による主体的・協働的な授業を進めて  
いくための取組の視点

①学習規律を整え、学びへの意欲を  
引き出す授業づくりを行います。

②思考力・判断力・表現力等を育て、考え  
を深める「学び合い」の場を設定します。

③ICT を効果的に活用した  
学習活動の充実を図ります。

④家庭学習の充実へ向けた支援を  
行います。



視点を基に  
授業充実部会  
生活充実部会  
で設定した  
各小中学校での  
共通実践を継続

特別支援教育部会  
による支援の充実

命や規範意識の大切さに気づき、支え合いながら  
生活できるように支援するための取組の視点

①小中の重点課題を共有し、人権感覚や規範  
意識の醸成を図ります。

②児童会・生徒会が中心となって、自主・自立  
に向けた自治的活動を進めます。

③SST(ソーシャルスキルトレーニング)等を  
行い他者と良好な関係づくりを進めます。

④自己を振り返りながら、目標達成を  
目指す児童・生徒を育成します。

### 西南中校区・特別支援教育8つの視点を土台とした教育活動を行います

十分にほめる 共感的に接する 個別に声をかける 断定的に伝える  
達成できる課題を設定する 視覚的な指示・教具を活用する 肯定的に話す 指示は簡単・具体的に伝える

#### 合志市 志合わせて夢実現プロジェクトの推進

- ☆生徒の皆さんによる「夢実現 My プロジェクト」  
○朝から自分で起きる ○朝食を食べる ○自ら学習をする
- ☆家庭生活における「夢実現 Home プロジェクト」  
○挨拶をする ○家事分業をする ○ノーマティア会話を
- ☆学校生活における「夢実現 School プロジェクト」  
○具体的共通実践事項にこだわります  
○基本意識の醸成と豊かな心の指導にこだわります  
○主体的学習習慣の習得を支援します
- ☆地域における「夢実現 Community プロジェクト」  
○見とってはいいよ ○言うてきてはいいよ ○一緒にやってみよう
- ☆合志市行政における「夢実現 Koshi City プロジェクト」  
○笑顔で挨拶 ○互いに手伝い ○地域の活動に参加

#### 幼保小中連携 「育ちのものさし」の活用

	第1期 小学1年～小学4年	第2期 小学5年～中学1年	第3期 中学2年～中学3年
	学級担任制	部分教科担任制	教科担任制
生活充実プロセス	・相手を見て挨拶・返事をする ・自分の荷物の準備や片付けをする	・相手を意識して挨拶・返事をする ・自分で使いやすいように荷物を片付ける	・時と場を考え挨拶・返事をする ・家事で自分の役割を実行する
学力充実プロセス	・「です」「ます」まで話す ・相手を見て最後まで話を聞く ・宿題をして、翌日の準備をする	・相手に合わせて伝えたいことを話す ・相手を見て最後まで話を聞く ・宿題だけでなく自主学習をする	・相手の理解を確認しながら話す ・相手を見て最後まで話を聞く ・将来を見据え計画的に学習をする
自分でできることを増やし、他者(友達、家族)と関わり、仲間とともに夢の実現に挑戦			

※学年間の段差(特に中1ギャップ)をなだらかにするための具体策は、各部会や学年主任部会で確認する

『夢の実現』に  
一歩前進

児童・生徒の実態 保護者及び地域の実態や願い 学校運営協議会・PTA との連携